

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2024年 1月16日

事業所名:びあキント

サービス種類:(児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	エリア広さ、遊びの内容に合った人数配置を行い、安全に課題に取り組んだり、遊んだりできる環境を設定している。又、エリアに合った遊び、玩具の提案をしている。	【1-1】 【放:はい89%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない0%】 ・小学生には少しせまく感じるかもしれないが、人数が少ないので十分かと思えます。 ・はい一ばんキッズと比べると小さいですが、人数に対しては問題ないかと思えます。 【児:はい94%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない0%】 ・密集するエリアが限られると子供と支援者が入るスペースがない。バラバラだと良い感じではある。 ・プレイスペースなど少しせまいかなと思う部分もあるが、静の活動、動の活動などしっかりと分けて設定してくださっている。	定期的に、活動に合った環境の広さ、人数配置等を見直し、安全な環境を提供できるように取り組んでいく。
	2 職員の適切な配置	午前:子ども1人に指導員1~2人、午後:子ども2人に指導員1人配置を基本とするが、午後でも必要に応じてマンツーマン対応もしている。	【1-2】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・問題ないと思います。 【児:はい83%・どちらともいえない17%。いいえ0%・わからない11%】 ・一人に一人ついてくれるのでありがたい。しっかり見てくれる気がする。 ・困り事にも相談対応をしっかりと下さるので感謝しています。	子どもの発達等に合わせて、指導員の人数配置を心がけています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的構造化を大切に、見える形がわかりやすい仕組みの導入、写真を用いた環境づくりを基本としている。又、発達段階に合わせたスケジュールも取り入れている。	【1-3】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・カードを使っていたりして工夫されていると思います。 【児:はい77%・どちらともいえない23%。いいえ0%・わからない17%】 ・施設の前が幹線道路で、玄関に1組しか入室できず、体温測定が30秒かかる体温計。入室までに危ない場面があり苦労しています。(5分くらい待つことが多い)	送迎時には、玄関の広さもあり、個人情報を含んだ話をもするため、複数の数に入室していただく等は、今後検討していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除に加え、週に1回、普段手が届かない場所(例:棚の下)等の掃除を実施している。	【1-4】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・とてもキレイにしてくださっていると思います。 【児:はい83%・どちらともいえない17%。いいえ0%・わからない0%】 ・子供の頭にホコリが乗っていることがあります。 ・玩具が非常に多く、足元が危ないかと思うことがあります。	可能な範囲で、年齢に合わせて玩具の量を変動させたり、提供の仕方を変えられるように検討していく。又、掃除に関しては、職員への指導を再度行い、清潔を保てるように取り組んでいく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	必要に応じて2ヶ月~半年に一度、管理職と面談し、目標確認及び実施状況の確認、今後の課題等の振り返りを実施している。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時、危険予知訓練、接遇マナー、療育基礎研修等の実施。定期的な法人全体のスキルアップ研修実施。又、虐待について等、施設外の研修へも参加し共有している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	30分程度のアセスメントの中で、簡易の発達検査を含む必要項目について、チェックをしている。その後、モニタリングを実施し、保護者のニーズの聞き取り、個人の発達段階に沿った課題の提案を実施。	【2-1-2】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・しっかりとモニタリングしてくださっているありがたいです。 ・子どもに合った支援になっていると思います。 【児:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・困りごとに対して適切な支援内容で選択されています。	保護者のニーズも含めて、子どもの発達段階に合った課題設定を行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	すべての子どもに対して、各人の発達段階に沿った、個別療育と集団療育を提供するよう、支援計画に組み込んでいる。		定期的に、課題名を管理者と確認して、個人に合った個別や集団の課題に取り組んでいけるようにする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	各人に必要な項目の設定、及び、具体的な課題に対する取り組み内容の記載をしている。		定期的に、課題を取り組む前に、課題名や取り組み方を確認していく。又、課題に取り組んだ直後に課題名と共に評価を記載する。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育中に、支援計画を確認して、支援課題に沿った取り組みを提供するよう努めている。また、連絡帳への記載も、基本的に支援課題に沿った内容を記載するよう努めている。	【2-3】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・計画通りしてくれています。 【児:はい94%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない0%】	計画に使用している課題名を連絡帳へ記載をしたり、送り出しの際に計画と共に保護者との情報共有も取り組んでいく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	個別課題を選定する際は、3名以上の職員間で話し合い、現状の共通認識及び、必要課題の選定に努めている。		定期的に、課題の内容を確認して、提案や修正等を職員内で出し合い、調整していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	開所曜日にあたる祝日は、通常通り開所。ただし、長期休暇等に応じて、開所時間や療育内容の変動等は、なし。	【2-4】 【放:はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・大丈夫かと思えます。 【児:はい88%・どちらともいえない12%。いいえ0%・わからない6%】 ・おむかえの時に、今日の様子ややったことなど、簡単にでも聞けたら嬉しい(話してくださっている時もある)。お両面の活動内容の名前を見るだけでは、どんなことをしているのかイメージできないものもある。可能であれば参観または今どんなことをしているのか写真などで見せてもらえると具体的によく分かり、家などでもやってみようとしていけるかもしれないと思う。(エピソードコメント書いて下さっているところは、分かりやすくてありがたいです。)	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化しない為に、基本的なカリキュラムは作成している。さらに、前4回を振り返り、重複無いう確認すると共に、参加者に応じて、内容の修正を実施しながら、療育を進めている。ただし、個別療育では、スモーステップを重要視する為、連絡帳等への記載項目は、同じになることはある。		カリキュラムを元に、課題の重複をしないように取り組んでいく。又、引き続き、前4回の課題の振り返りながら、個人に合った課題設定を行っていく。
8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の配置職員に応じて、役割の変動を、指導員間で話し合い、役割分担を実施。特に、集団療育については、参加予定者全員に必要な課題になるよう、管理者の承認を得て実施。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別療育や集団療育の評価は、評価表への記載、報告及び記録を実施。又、保護者から得た情報等は管理者への報告を努めている。		
	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	評価や連絡帳は、療育提供直後に記載し、正確な記録になるよう努めている。また、個別・集団活動の課題を取り組む前に管理者と内容や取り組み方を定期的に見直し、段階に合った課題設定を実施。		
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	計画更新前には必ずモニタリングを実施し、保護者と現状についての情報共有や、今後必要な課題の選定を実施。		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所との、情報共有の実施。必要に応じ、担当者会議への参加あり。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	情報提供書の作成依頼を受け、個別の情報提供書作成配布の実施あり。また、園からの見学相談等も受け入れ実施あり。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	対象としていない。(利用年齢制限小学1年生までのため)		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	指導員の見学や研修参加等への派遣は、積極的に実施。		
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない。	【2-5】 【放:はい25%・どちらともいえない0%・いいえ11%・わからない56%・無回答1】 ・ないです。 ・特に必要ないと思います。	今後、希望者が出てくるようであれば、検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。	【児:はい28%・どちらともいえない0%・いいえ33%・わからない39%】 ・びあキントと保育園と直接のやりとりはできない、電話も不可とのことでした。	
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時および契約説明時に、文書および口頭にて説明実施。又、放課後等デイサービスに移行になった時に、移行者全員にLINEでの請求の説明を実施。	【3-1】 【放:はい89%・どちらともいえない11%・いいえ0%・わからない0%】 ・請求書が出るのでその通りに支払いをしているのみで、特に説明はなかったかと思えます。 【児:はい89%・どちらともいえない11%・いいえ0%・わからない0%】	質問や再度説明の希望があれば、個別に対応します。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングに重点を置いており、保護者さんと一緒に課題を選定していく為、書面は、課題説明後に作成している。作成後、モニタリング時と内容に相違がないかの確認および疑問点への再説明を基本としている。	【3-2】 【放:はい100%・どちらともいえない0%・いいえ0%・わからない0%】 ・モニタリングの際説明と提案をいただきました。 【児:はい100%・どちらともいえない0%・いいえ0%・わからない0%】	引き続き、モニタリングでの情報共有や支援内容の調整を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	全学年において、ペアレントトレーニング目的に、親子参加を必要に応じ案内している。支援計画に沿った情報提供を中心に、家庭との協働を目指している。積極的に事業所内相談も受けています。代表理事の講演による外部参加のセミナー開催も実施あり。	【3-3】 【放:はい63%・どちらともいえない11%・いいえ0%・わからない22%・無回答1】 ・参加できていませんが行われているのは知っています。 【児:はい55%・どちらともいえない17%・いいえ6%・わからない22%】 ・父親に向けた会を、ぜひ聞いてもらえたら嬉しい。なぜ早期教育が大切なのかや、どんな関わり方が良いかや注意点など、母からまた聞きで父に伝えるよりも、先生方から直に父たちにも聞いてもらえたらすごく良いし、意識も変わるだろうと思う。	職員へのペアレントトレーニングに関してのスキルを上げていくと共に、積極的に取り組んでいきたい。又、びあティータイムの実施も、引き続き取り組んでいく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に最近の様子の聞き取りや当日の療育での様子などを通し、情報共有を実施。必要に応じてLINEや電話等でも情報提供実施。ただし、送迎時については、希望者のみ早めに来所していただくことで、情報共有を実施。又、連絡帳を通して、その日に取り組んだ課題と評価、どんな取り組み、支援を行ったかを記載している。	【3-4】 【放:はい89%・どちらともいえない11%・いいえ0%・わからない0%】 ・お迎えのときによくお話していただいています。 【児:はい83%・どちらともいえない11%・いいえ6%・わからない0%】 ・コロナ対策と入室1組のみというルールで他利用者の手前、フィードバックが短い。連絡帳は次回に預けるため、当日何をしていたかわからない。連絡帳が読みにくい。(字が小さく、文字もクセが強い。)	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時など日々の相談事は、基本指導員が聞き取り、管理者が回答するなど、必要に応じて情報提供を実施。事業所内相談は、希望者のみ、基本毎月1回30～60分程度、受け付けている。	【3-5】 【放:はい78%・どちらともいえない22%・いいえ0%・わからない0%】 ・モニタリングが丁寧に行われています。 【児:はい83%・どちらともいえない17%・いいえ0%・わからない0%】 ・何か困ったことがあれば、その場で相談できる余裕があるのでうれしい。	職員の知識の向上をはかると共に、情報提供を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	令和5年6月、令和6年1月に実施。	【3-6】 【放：はい67%・どちらともいえない22%。いいえ0%・わからない11%】 【児：はい61%・どちらともいえない28%。いいえ0%・わからない11%】 ・コロナの影響で今まで難しかったと思いますが、今後もっと増えたらうれしいです。 ・参加したいが参加できない日程や時間が多い。 ・6月に開かれたびあティータイムをもう少し多く開催していただけたらうれしいです。 ・交流会を開いてくださってありがたかったが、ランダムにくじでグループが決まったので、年長ばかりに1人年少で話についていけない感もあつたりしていたので、学年別や、年齢別などで分けてみてもらえたら、より、知り合い・友だちとしてつながっていきけるきっかけにさせてもらいやすそうだなと思った。 ・びあティータイムの時間をもう少し長くしてほしいです。	時間帯、びあティーの内容の見直し、より良い時間を提供できるように取り組んでいきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	その都度職員間で話し合い、迅速にかつ丁寧に対応する様努めている。	【3-7】 【放：はい63%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない22%・無回答1】 【児：はい50%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない44%】 ・入口の張り紙等周知してくれています。 【放：はい89%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない0%】 ・よく話してくれています。 【児：はい89%・どちらともいえない10%。いいえ0%・わからない11%】 ・公式LINEがあり、やり取りがやりやすく助かります。	引き続き意見書を設置し、意見を言いやすい環境を整えていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、文字やイラストなどを用いる筆談を取り入れたり、現物を開示提供するなど、努めている。 LINEやメールの活用も積極的に推奨し、必要な情報が、記録として残るようにもしている。	【3-8】 【放：はい89%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない0%】 ・よく話してくれています。 【児：はい89%・どちらともいえない10%。いいえ0%・わからない11%】 ・公式LINEがあり、やり取りがやりやすく助かります。	連絡帳の様子は、毎年見直し改良をし、必要に応じて情報提供の欄の調整をする。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現状、会報等は発行していない 避難訓練等、重要な活動については、事業所内に掲示やホームページに掲載している	【3-9】 【放：はい33%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない56%】 【児：はい28%・どちらともいえない22%。いいえ11%・わからない39%】 ・それはないと思います。 【放：はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 ・十分注意してくれています。 【児：はい72%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない22%】	必要に応じて、発信をできるように検討する。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	すべての書類等は、メモも含む、一切を事業所より、持ち出し禁止を基本としている。 来客時等は、個人のフルネーム等も含め個人情報に他人の目に止まるなど、情報漏洩が一切ないよう努めている。	【3-10】 【放：はい100%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない0%】 【児：はい72%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない22%】	今後も、慎重に取り扱い、管理をしていく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	安全と衛生は、最重要項目と考えており、常に職員の資質向上を目指し、トレーニングを積んでいます。 職員へは、入社時に研修指導を実施。 保護者へは、契約時に、マニュアル策定がある旨を説明実施および玄関先に避難先等の掲示あり。	【4-1】 【放：はい89%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない11%】 【児：はい77%・どちらともいえない6%。いいえ0%・わからない17%】	更なる向上を目指し、必要に応じて保護者にも周知できるようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回の、子どもを交えた避難訓練を実施しています。訓練をした際は、室内掲示やホームページ掲載をしています。	【4-2】 【放：はい67%・どちらともいえない0%。いいえ0%・わからない33%】 【児：はい61%・どちらともいえない11%。いいえ0%・わからない28%】	職員も訓練に参加すると共に、その日に振り返り、緊急時には迅速に対応できるようにスキルを上げていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の為に、全体研修年に2回を目標に、研修を行い、自ら又は職員同士の言動を見直す機会を設けている。 又、毎セッション後に、虐待に繋がる言動がなかったかを職員間で振り返っている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行わない。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	おやつや食事の提供はなし。 アレルギーは、フェイスシートへの記載依頼にて、情報共有はあり。 又、必要に応じて、アレルギーに敏感な利用者は、個別の対応も行なっている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎セッション後に職員間で確認し、怪我につながるようなことも含めて振り返りを実施。 又、週1回程度、ヒヤリハットの振り返りおよび改善会議の実施。 ヒヤリハット事例集は、常時職員が閲覧可能な場所へ設置あり。		